



特養ホームも担当

一日三十一五十人程度の患者が診療所を利用するうえ、約十キ離れた特別養護老人ホーム(入所百人)も診ているので、皆さんが想像するようなんびりとしたものではありません。当然、産婦人科以外はほとんどすべて来院します。標榜(ひょうぼう)は、内科、小児科で

私の住む耶馬溪町(やばけいまち)は溪谷に囲まれた山間地区で、一目八景と呼ばれる紅葉の絶景や美しい耶馬溪ダムがあり観光客が途絶えません。

診療所は、観光道路ともいえる県道に面したところであり交通量も多く、あまりへき地ということを感じさせません。

美しい夕日に心奪われて

すが自分は整形外科かと勘違いするほど骨関節疾患の患者さんが多いです。

私は、義務年限が明けて耶馬

も考えていました。

ある日、町から「診療所に残

りにはなれませんでした。し

かし、ある日ダム周辺を自転車で散策していたとき、あまりに

美しい夕日が目にとまり(うそ

っばいですが本当です)強く残

りたいと感じるようになりました。

しかし、診療所に「お客さま

のように短期間勤めると、長

く残るのでは、だいぶ状況が違

います。

しかし、なんといつてもここ

は自然も人も素晴らしいところ

です。新鮮な野菜やシイタケな

どたくさんいただけ、感謝する

ばかりです。自治医大を卒業し

たことについて、最初はかなり

悩みましたが今は後悔はありま

せん。

毎日、診療を終え、自転車で

自然を堪能しています。そして、

畑仕事に精を出す地域の方

と元気にあいさつを交わすのが

日課になっています。

(次回予定は静岡県)

ないとうえいいちろう
内藤英一郎

15期生1992年卒



深耶馬溪(しんやばけい)の一目八景の紅葉。秋は観光客で混雑する

中津市山移診療所

【私の勤務地】2005年に耶馬溪町は市町村合併で中津市に編入した。山移(やまうつり)診療所は中津市内から車で約50分のところにある。対象人口約1000人。2003年に私が就職したのを契機に診療所が新築された。

人の素晴らしさも

私にも家族があり、そこに住むということは、田舎の不便さを家族にも強要することになります。買い物に行くのも、車で四十分かかり、週末は買い出しです。娘の通う保育園は人数も少なく、いつ廃園になるか分かります。九州とはいっても、冬季は積雪でチェーンを使わないと行けないことも多く、寒さも半端ではありません。

また、身体の不自由な高齢者の中には、診療所が唯一の心のよりどころとなっている方もおられます。おまけに特養も診ているので、長期の休暇などとは、まったく無縁です。三百六十五日、二十四時間、携帯電話で束縛されているようなありさまです。

(次回予定は静岡県)